

# 病害虫 防除だより

No. 373

令和6年3月28日

## 適正な温度管理でイネ苗立枯病を予防しよう!!

4月から5月の気温は高い予報となっています。苗が5℃以下の低温や30℃以上の高温に遭遇すると苗立枯病が発生しやすくなります。適正な温度管理と適切な薬剤散布により、健苗づくりに努めましょう。また、育苗箱は必ず洗浄、消毒したものを使いましょう。

### 1) 育苗温度

浸種期間……20℃を超えないようにする。

出芽期間……30℃を超えないようにする。

育苗期間……夜間5℃以下、昼間25℃以上にならないようにする。

○細菌性病害は気温が高いと発生しやすく、高温管理で爆発的に蔓延する。快晴時には早めにハウスの換気を行う。

○カビによる立枯病は夜間の温度が低いと発生しやすい。低温時には保温対策をする。

### 2) 水管理

○天気の良い日の午前中にたっぷり灌水し、床土の極端な乾燥・過湿は避ける。

○ムレ苗予防のため育苗初期から中期の過灌水を避ける。

### 3) 床土

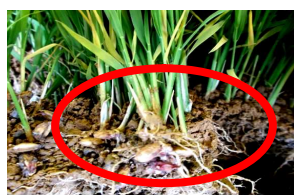
○病原菌に好適な環境にしないよう、pHは4.5～5.1程度とし、厚播き・多肥は避ける。

対象	薬剤名	使用時期	使用濃度	使用量/箱*	使用回数
フザリウム菌 ピシウム菌 ムレ苗防止	タチガレン液剤	播種時又は発芽後	1000倍	1L土壌灌注	2回以内
	タチガレエースM液剤		500～1000倍	500mL土壌灌注	
			1000倍	1L土壌灌注	1回
リゾプス菌	ダコニール1000	播種時から緑化期 但し播種14日後まで	500～1000倍	500mL土壌灌注	2回以内
			1000～2000倍	1L土壌灌注	
トリコデルマ菌 フザリウム菌 リゾプス菌	ダコレート水和剤	播種時から緑化期 但し播種14日後まで	400～600倍	0.5L灌注	2回以内
			800～1200倍	1L灌注	
			幼苗腐敗症(もみ 枯細菌病菌) 褐条病 苗立枯細菌病	カスミン粒剤	覆土前

○細菌性病害は、発生後の防除薬剤がないため予防対策をとる。特に5月中旬移植用の苗で、ハウス内の高温・多湿が予想されるので、必ず播種時に前もって薬剤防除する。



ピシウム菌による苗立枯病  
(ムレ苗)



フザリウム菌



苗立枯細菌病



褐条病

令和6年度農作物病害虫防除指針 <https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/021033/shokuryouanzen/boujoshishin.html>

◇◇◇ 最新の農業登録情報 (<http://pesticide.maff.go.jp>) を確認して下さい ◇◇◇

福井県農業試験場病害虫防除室

連絡先: 0776 (54) 9315

<http://www.pref.fukui.lg.jp/doc/noushi/kankyo/boujyo.html>

QRコードをスキャンしてください→



農薬の飛散に注意しましょう

農薬の安全使用に努めて適期防除しましょう